

心に残る文化財子ども塾 奥出雲町立鳥上小学校

1. 活動の概要

9月9日（金）、仁多郡奥出雲町大呂にある町立鳥上小学校で、5・6年生9人を対象として『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

はじめに、古代出雲歴史博物館職員が、校区にある遺跡について横田八幡宮には弥生時代の銅剣が伝えられていること、古代から製鉄が盛んで、たくさんの関連遺跡があること、小学校自体が遺跡の上に立っていることなどを紹介しました。また、奈良時代の地区の様子を『出雲国風土記』を参考に説明しました。

次に、大仏パネルの組み立てを行いました。奈良時代に大仏が造られた背景や造り方を説明しました。子どもたちは、協力してパネルを並べ、21分程度で完成しました。大仏パネルの上を歩いたり、二階から全体像を眺めたりして、実物大の大仏の大きさを実感していました。そのあと、大仏パネルの上で思い思いのポーズをとって記念撮影をしました。蒸し暑い日でしたが、全員が協力して大仏を完成させて、その大きさを実感することができた一日となりました。

2. 活動の様子



「校区にはどんないせきがあるかな...」



「奈良時代に使っていた本物の土器です」



「どこのパーツかわかるかな」



「大仏の大きさを体感してます」

3. 活動を終えて

1) 児童の皆さんから

- 昔の生活の痕跡や土器を見つけてみたい。
- みんなと協力して大仏づくりができて楽しかった。
- 奈良の大仏が大きくてびっくりした。
- 大仏を実際につくのは大変だと思った。
- 本物の土器や勾玉を触ることができて嬉しかった。
- 古墳をもっと詳しく知りたい。

2) 担任の先生から

- 地元の遺跡や古墳を知ることができて良かった。
- 土器や勾玉、剣の模鑄造に触れることにより、当時の様子を感じることができた。
- 大きな大仏をみんなで協力して作り、実際の大きさや協力して作る楽しさを感じることができた。
- 大仏パネル体験や物を触ったりする五感を通じた学習があると心に残ると思います。

3) 古代出雲歴史博物館から

地元にもたくさん遺跡があることや小学校が遺跡の上にあることを説明したときの児童の皆さんの驚いた表情が嬉しかったです。

体育館に広げられた奈良の大仏と同じ大きさの大仏パネルを組み立てるのは大変な作業ですが、協力して手際よく組み立てられました。体育館の2階に上がり、組み立てた大仏パネルをみると、その大きさを実感し、昔の人の大変さやすごさを感じていました。

また、授業の準備や片付けを児童の皆さんや先生方に手伝っていただきました。お陰で準備も片付けもスムーズに行うことができました。この体験が児童の皆さんの記憶に残れば嬉しいです。